



M.M.Honcho Newsletter

【7月号】令和4年6月30日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



第2回 ミニ講演会

校長 小正 和彦

観測史上最速で梅雨が明け、いよいよ暑さも本番となりました。子どもたちには元気に夏休みを迎えられるよう、大切に一日一日を過ごしてもらいたいと思います。

6月18日に行いました土曜参観には、多数の保護者の皆様のご参加をいただきました。参観人数の制限、2グループ制と、引き続きコロナ対策をとっての実施でしたが、4月に続いて予定通り今年度2回目の土曜参観が実施できましたことを嬉しく思います。保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。この後、2回の授業参観に続き、個人面談を予定しております。ご家庭との共有、連携をしっかりと、一人ひとりの子どもの成長をご一緒に支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

今回の土曜授業参観でも、ミニ講演会をさせていただき、前回に引き続き、約150名の皆様にご参加いただきました。「ESDと学力」をテーマに、ESDに取り組む背景や意義、そして一人ひとりの子どもの成長と学力との関係につきましてお話をさせていただきました。

特に学力については、所謂VUCA時代といわれる、変化が激しく、想定外の事象が発生する予測が困難といわれるこれからの時代を生きていく子どもたちにとって、非認知能力・社会情動的スキル・エージェンシーといった求められている力とESDとの親和性の高さ、さらにみなとみらいの地域性との関連についてお話ししました。これまでのテスト等で測ることが可能な学力（認知能力）だけでなく、目標を達成するための力としての「意

欲」や「自己効力感」、他者と協働するための力としての「協調性」や「社会的スキル」、そして情動を制御するための力としての「自尊心」や「自信」など、子どものよさを伸ばす視点についてご紹介しました。さらに、自分の能力を自分のために発揮するだけでなく、様々な人との関わりを通して、社会全体がよくなるように動こうとする責任感をもつことである「エージェンシー」が注目されていることや、その意味である「自らの学びのエージェントになる」ということが、第1回ミニ講演会で触れた、「主体的な学びとは自らの目標をもち、それに向かって自分が獲得したい力を意識し、そのために自らの学びをつくっていくこと」という内容と繋がっていることにも触れました。また、中学、高校、大学と時期による選抜試験の違いと個々の子どもの特性や発達段階との兼ね合いから、大切にしたい視点についても私の考えをお話させていただきました。

最後に、それらの力をつけていくために、多様な大人と関わり、家庭や社会との価値づけの連動が重要であり、そのためのプラットフォームでもある「みらい共創ネットワーク！」の意義を確認し、代表の榎本様からご挨拶をいただきました。

今回も限られた時間の中で盛り沢山の内容となり、慌ただしい進行となってしまいましたが、私の考えや思いを直接お伝えし、共有する機会を持てましたことを嬉しく思います。次回は、ゲストをお迎えしての公開座談会として、会場の皆様からのご質問や意見交換もできればと考えております。引き続き、よろしくお願いいたします。

PTA

6月授業参観の本の回収では、68冊の寄付がございました。ご協力いただき、ありがとうございます。

また、書面による年度初め総会へのご理解とご協力、誠にありがとうございました。無事総会が成立し、承認への決議がされたこと、改めて御礼申し上げます。

ご意見などございましたら PTA 本部まで
(mmhoncho.pta@gmail.com)

みらい共創ネットワーク！

4月から3年生、5年生のサポートを中心に、ご協力いただきましたサポーターの皆さま、ありがとうございました。夏休み明けも様々な活動が予定されております。多くの皆さまにご登録いただきご参加いただくことで子どもたちの活動もより豊かなものへと繋がります。今後ともご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

(今後の活動例：校外学習・遠足付き添い、5、6年生家庭科学習のサポート等)

【代表 榎本文絵：mubr8845@machicomi.jp】